



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

地域コミュニティの活性化を目的としてサロン事業（メロディーカフェ）を展開しています。サロン事業は、町内のやる気のある方々を集め、ボランティアとして利用者の相談や世間話により、希薄化した地域コミュニティの活性化の一翼を担っている。

また、第三土曜日は、認知症サポーターの主催で、オレンジカフェ（認知症カフェ）を実施し、認知症予防体操や、認知症などの相談業務も行っている。さらに、サロンコンサートとして埼玉県立松伏高等学校の合唱部や学習館利用サークルに依頼し、発表を通して若い方々との交流を図っている。

併せて、世代間の交流だけではなく、サロン事業の時に障がい者施設で作ったパンなどの販売を通じ、障がい者の方々との交流も図っている。

また、教員経験者をコーディネーターとして配置し、学校教育事業との連携した講座の実施や学習支援、利用者や子ども達及び保護者などの相談業務も行っている。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- 来館者が増加(改修前17,683人、現在18,986人)
- サロン事業による高校生との世代間交流ができた。
- オレンジカフェにより、車いすの方などが利用してくれるようになった。
- コーディネーターによる学校との関連講座、事業を実施できた。

これまでの取組全体による成果・効果

- 『書初め教室』参加者で、県展入選することができた。
- 講座講師の希望者が増え、講座数を増やすことができた。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

学識経験者やスポーツ協会会長、文化協会会長など12名で構成する松伏町社会教育委員会を年2回実施。教育委員会事業報告書を作成し、6月に行われる委員会では報告をしている。10月に行われる委員会では、事業、講座、施設の改善点などを協議をする。また、次年度の新規事業の提案をいただき、協議している。令和元年度は、社会教育委員から提案のあった『着付け教室』、『まっぴし音頭を踊ろう』、『スポーツ吹き矢教室』、『将棋教室』を実施している。※『将棋教室』はコロナウイルス感染拡大防止のため中止

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

色々な世代が交流をしながら学習を推進する事業がどのようなものか模索しながら事業を行っている。

世代間の交流として、町内にある埼玉県立松伏高等学校の合唱部の方々にサロン事業での発表を依頼し、サロンコンサートとして実施したところ、学習館利用者、近隣住民の方々が来館し高校生との交流ができた。また、大人の講座に参加してくれた方を夏休みの子供向けの同じ講座の助手として参加してもらい、世代間の交流を図っている。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

来館者には、あいさつなどの声をかけをして**コミュニティの活性化**を図っている。また、相談なども業務の一環となっているので、日ごろからの**窓口の会話などを大切**にし、相談しやすい環境づくりを心掛けている。また、事業等についても、学習館だけでは難しいが、オレンジカフェのように認知症の知識のある方の力を借りれば、実施できるものも多々ある。行政機関や**関係団体等と協力できる事業**を計画、実施するようにしている。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

- ・教員経験者であるコーディネーターを中心に、学習館と学校などとの繋がりを強化。
- ・地域住民の憩いの場として、特に若い方、サークル及び地域の方を巻き込んだ世代間交流の強化。

新型コロナウイルスの中、当館は膝をつき合わせるような「三密」になる活動が多かったため講座やイベントの中止など、大きな影響を受けていますが、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えつつ「つどう」「まなぶ」「むすぶ」の役割を果たすため現在、YouTubeにて「工作」や「読み聞かせ」などの動画配信を行っております。

今後は、愛称にも掲げた「メロディー」の名にふさわしい「サロンコンサート」の配信など進め、SNSの可能性を模索しつつ、活動の場を失った方への発表の場を提供して行きたい。

作って遊ぼう

☎電話

・撮影や編集は職員が行っております。

・松伏町PRキャラクター「マップー」を映すことで分かりやすく工夫しております。

・動画は、定期的に発信し3分から5分程度で飽きることなく視聴出来ます。